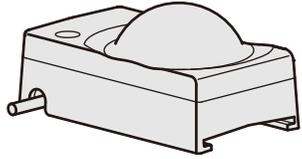


取扱説明書



受光ユニット AT724RXMK2 AT725RXMK2

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておください。



●高性能受光素子を採用し、受光ユニットの設置数低減と小型化を実現

※本製品は当社赤外線コードレスマイクロホン（別売）、当社赤外線コードレスレシーバー（別売）と組み合わせて使用する必要があります。対応製品については当社のホームページをご覧ください。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までご連絡ください。

- 受光ユニット ×1
- 木ネジ ×2
- 貼り付け板 ×1
- 受光ユニット取り付け金具 ×1
- 取扱説明書（本書）
- 保証書

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- 警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- 注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

- 警告**
- 本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気づいたら使用しない
- 分解や改造はしない
- 強い衝撃を与えない
- 濡れた手で触れない
- 水をかけない
- 布などで覆わない
- 感電、故障や火災の原因になります。
- 感電、故障や火災の原因になります。
- 感電やけがの原因になります。
- 感電、故障や火災の原因になります。
- 感電、故障や火災の原因になります。
- 過熱による火災やけがの原因になります。

- 注意**
- 不安定な場所に設置しない
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
- 火気に近づけない
- ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
- 密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない
- 変形、故障の原因になります。
- 変形、故障の原因になります。
- 変形、故障の原因になります。

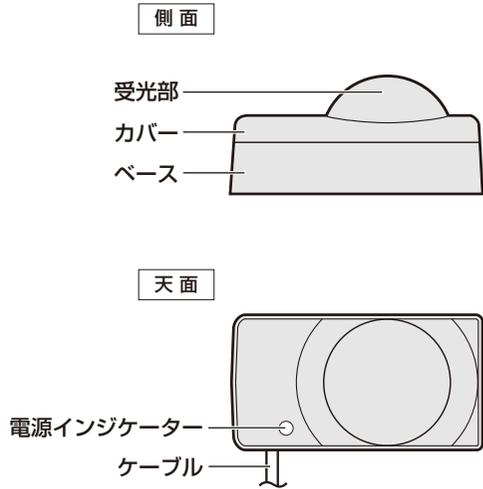
使用上の注意

- ご使用の際は、接続する赤外線コードレスレシーバーの取扱説明書も必ずお読みください。
- 天井に設置する際は、窓または壁から約2～3m離して設置してください。
- 壁に設置する際は、直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入らないように設置してください。
- マイクロホンは、本製品から1m以上離して使用してください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- 下記の近くには設置しないでください。システムの動作不良やノイズ発生の原因となる場合があります。その場合は、正常に動作する場所まで離して設置してください。

		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約16m	約9m
	LO	約12m	約7m
	ECO	約10m	約5m

- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- ケーブルの配線時に、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズが発生する場合があります。

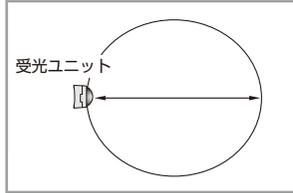
各部の名称



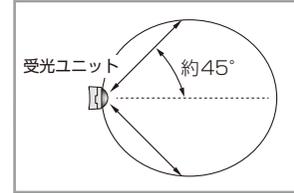
受信範囲

※受信範囲は、製品の組み合わせや設定、室内の状況などにより変わります。
※下記は以下の製品を組み合わせた例です。
・レシーバー：AT-CR701
・受光ユニット：AT724RXMK2
・マイクロホン：AT-CLM7000TX

●正面方向



●斜め方向（約45°の場合）



		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約16m	約9m
	LO	約12m	約7m
	ECO	約10m	約5m

		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約11m	約6m
	LO	約8m	約5m
	ECO	約7m	約3m

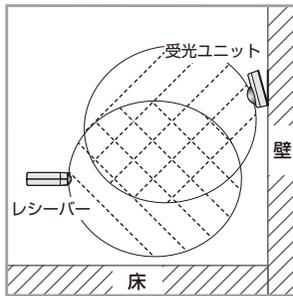
*マイクロホンの出力切換スイッチ（HI / LO / ECO）とレシーバーのノイズミュート切換スイッチ（標準 / 入）を切り換えると受信範囲が変わります。

■セッティング例

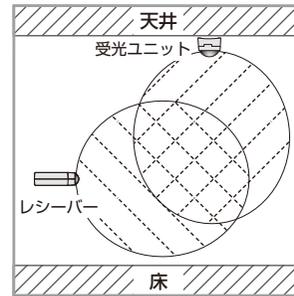
受信範囲がある程度重なるように受光ユニットを取り付けてください。また、受光ユニットは正面に最大感度を持っているため、天井よりも壁に設置するほうがより効果的です。

レシーバー + 受光ユニット 1 個 使用時

●受光ユニットを壁面に設置する場合

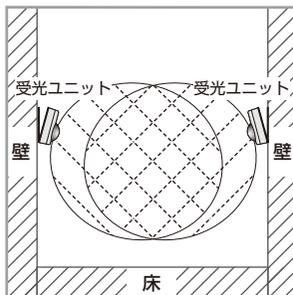


●受光ユニットを天井に設置する場合

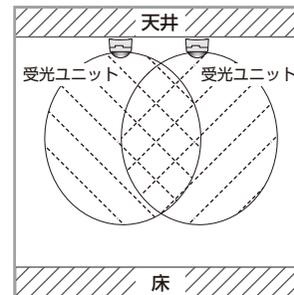


受光ユニット 2 個 使用時

●受光ユニット 2 個を壁面に設置する場合



●受光ユニット 2 個を天井に設置する場合



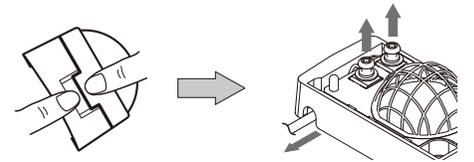
*直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入ると、大幅に受信範囲が小さくなります。

ケーブル長の変更のしかた

ケーブル長を変更する場合は、下記の手順に従って変更してください。

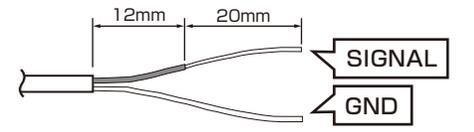
※必ずケーブルのプラグをレシーバーから抜いた状態で行ってください。ケーブルを抜かないまま作業を行うとショートし、火災や故障の原因になります。

- ①カバーを開け、ケーブルを固定しているネジを2本とも緩め、ケーブルを外します。



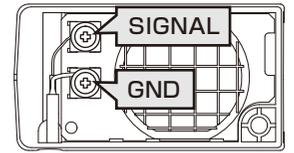
※ネジが抜けないように注意してください。

- ②適切な長さにケーブルを切断し、先端の被覆を下図の長さを目安に剥がします。



※受光ユニットを複数台設置する場合は、ケーブル長をそろえると受光感度が良くなります。

- ③ケーブルを下図のように配線し、極性通りに端子に取り付けます。



※極性を良く確認して取り付けください。
「GND」側：シールド（太い導線）
「SIGNAL」側：芯線（導体が細く黄色い被覆）
※ケーブル同士が接触していたり、端子以外の部分に接触するとショートし、故障の原因になります。

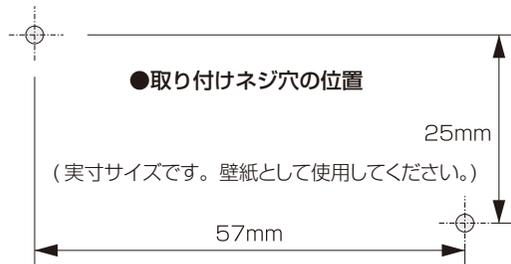
- ④カバーをしっかりはめ、隙間や段差がないかを確認します。

設置のしかた

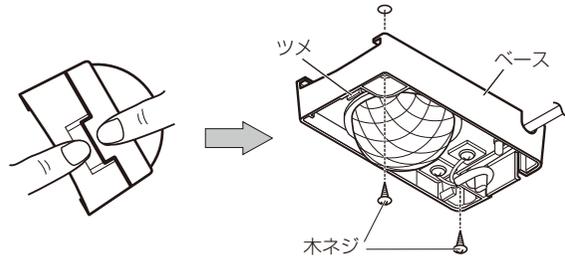
天井や壁に穴を開けて設置する場合

※プラスドライバーと付属の木ネジを用意します。
 ※受光ユニットは、障害物がなく見通しの良い場所で、マイクロホンから直視可能な場所に設置します。

- ①受光ユニットの取り付け位置を決め、ネジ穴の箇所を鉛筆などで目印を付けます。



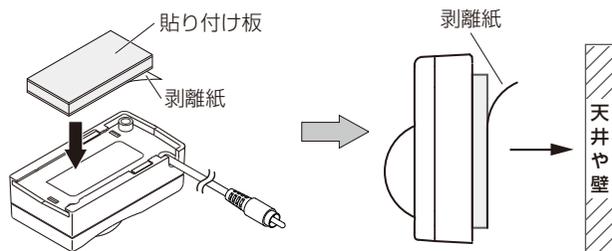
- ②受光ユニットのカバーを開け、木ネジをベースに通して天井や壁などに取り付けます。



- ③カバーをしっかりはめ、隙間や段差がないかを確認し、受光ユニットのケーブルをレシーバーの受光器入力に接続します。

付属の貼り付け板を使用して設置する場合

- ①天井や壁の貼り付け部および受光ユニット底面の油や汚れを拭きとります。
 ②貼り付け板の片面の剥離紙を剥がし、受光ユニットの底面に貼ります。
 ③貼り付け板の反対の面の剥離紙を剥がし、天井や壁に貼ります。
 ④天井や壁にしっかり押し付けます。



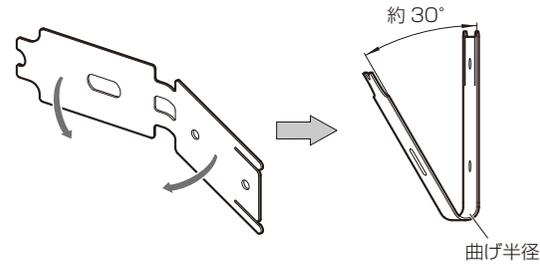
注意

- 本製品のケーブルを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線する恐れがあります。
- 取り付け場所の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故については、当社は一切責任を負いません。
- 貼り付け板をご使用の場合、天井や壁の材質、気温、湿度などの環境により剥がれやすい場合があります。落下して人に当たる可能性のある場所へは絶対に設置しないでください。

付属の取り付け金具を使用して壁に設置する場合

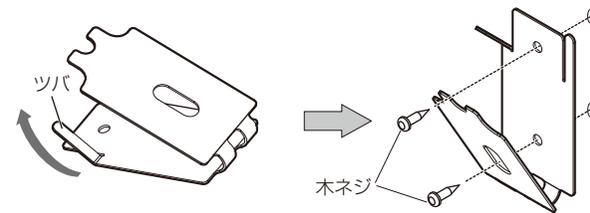
※取り付け金具は、壁取り付け専用です。天井には使用できませんので、注意してください。

- ①受光ユニット取り付け金具を両手で持って中央部から曲げ、曲げ角度を約 30° にします。

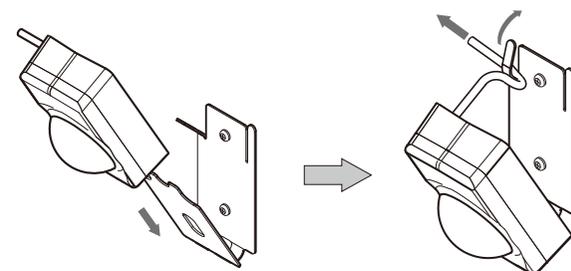


※曲げる際には、けがをしないようご注意ください。手を保護するため、手袋の着用をおすすめします。
 ※必要以上に曲げないでください。変形、破損の原因になります。
 ※曲げ半径は小さくしすぎると、破損の原因になります。自然に曲がる半径 (約 4mm) が推奨です。

- ②ケーブルを通す側のツバを起こし、2カ所の丸穴に付属の木ネジを通して壁に取り付けます。



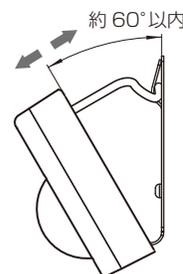
- ③受光ユニットを差し込み、受光ユニットから出ているケーブルを起こしたツバの下に通し、ツバで軽く押さええます。



※強く押さえると断線や被覆が切れる恐れがあります。
 ※ケーブルは余裕を持って弛ませてください。

- ④角度を調整します。

※曲げ角度は約 60° 以内で使用してください。広げすぎると受光ユニットが落下する恐れがあります。

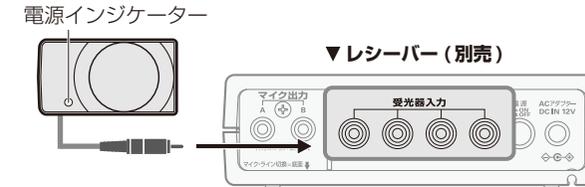


接続のしかた

※当社赤外線コードレスレシーバー (別売) の取扱説明書も併せてお読みください。

- ①本製品のケーブルをレシーバーの受光器入力へ接続します。
 ②レシーバーの電源を ON にします。
 ③本製品の電源インジケータが点灯します。

*AT724RXMK2: 赤
 AT725RXMK2: 緑

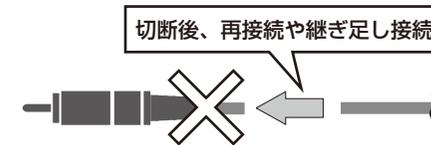


注意

- マイク出力と受光器入力の付け違いには充分ご注意ください。逆に接続すると火災や故障の原因になります。(マイク出力は「白」、受光器入力は「黒」で区別されています。)

ケーブルの配線について

壁内や天井内にケーブルを配線する場合、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズ発生の原因となります。



故障かな?と思ったら

以下の項目を参考にしてください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

Q. 電源が入らない	
A1:	受光器入力とマイク出力の配線は間違っていないですか?
A2:	レシーバーの電源は入っていますか?
A3:	本製品内部の端子付近でケーブルが接触していたり、端子以外の部分に接触していたりしていませんか?

Q. 受信しない、音にノイズが乗る、音が途切れる	
A1:	本製品またはレシーバーとマイクロホンの間に障害物はありませんか?
A2:	マイクロホンと本製品との距離が離れすぎていませんか?
A3:	ノイズ源となるものの近くに設置していませんか? 詳しくは「使用上の注意」をご確認ください。
A4:	ケーブル配線時に、ケーブルのプラグ付近で切断後、再接続や継ぎ足し接続をしていませんか? 詳しくは「受光ユニットの設置のしかた」をご確認ください。

テクニカルデータ

外形寸法 : H34 × W38 × D70mm
 ケーブル長 : 20m
 質量 : 約 36g (ケーブル除く)
 ●付属品 : 木ネジ × 2
 : 貼り付け板
 : 受光ユニット取り付け金具
 : 保証書

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

※修理品の送付について
 修理・検査の場合、お買い上げの販売店または当社窓口へお送りください。なお、送料はお客様ご負担とさせていただきます。製品は輸送中の事故がないように、元通りに梱包してお送りください。

製品保証および修理などにつきましては、お買い上げの販売店または下記窓口までお問い合わせください。

株式会社 **オーディオテクニカ**
 【東京】 〒113-8525 東京都文京区湯島 1-8-3 テクニカハウス ☎ 03(6801)2030
 【名古屋】 〒461-0004 名古屋市中区栄 3-22-8 ニューザックビル 7F ☎ 052(979)4706
 【大阪】 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-1-3 SORA 新大阪 21 13F ☎ 06(6395)5464
 【福岡】 〒812-0013 福岡市博多区博多駅前 3-12-1 アリソンビル 95ビル 3F ☎ 092(412)7261
<http://www.audio-technica.co.jp/amz>